

特許庁における機械翻訳の取組み

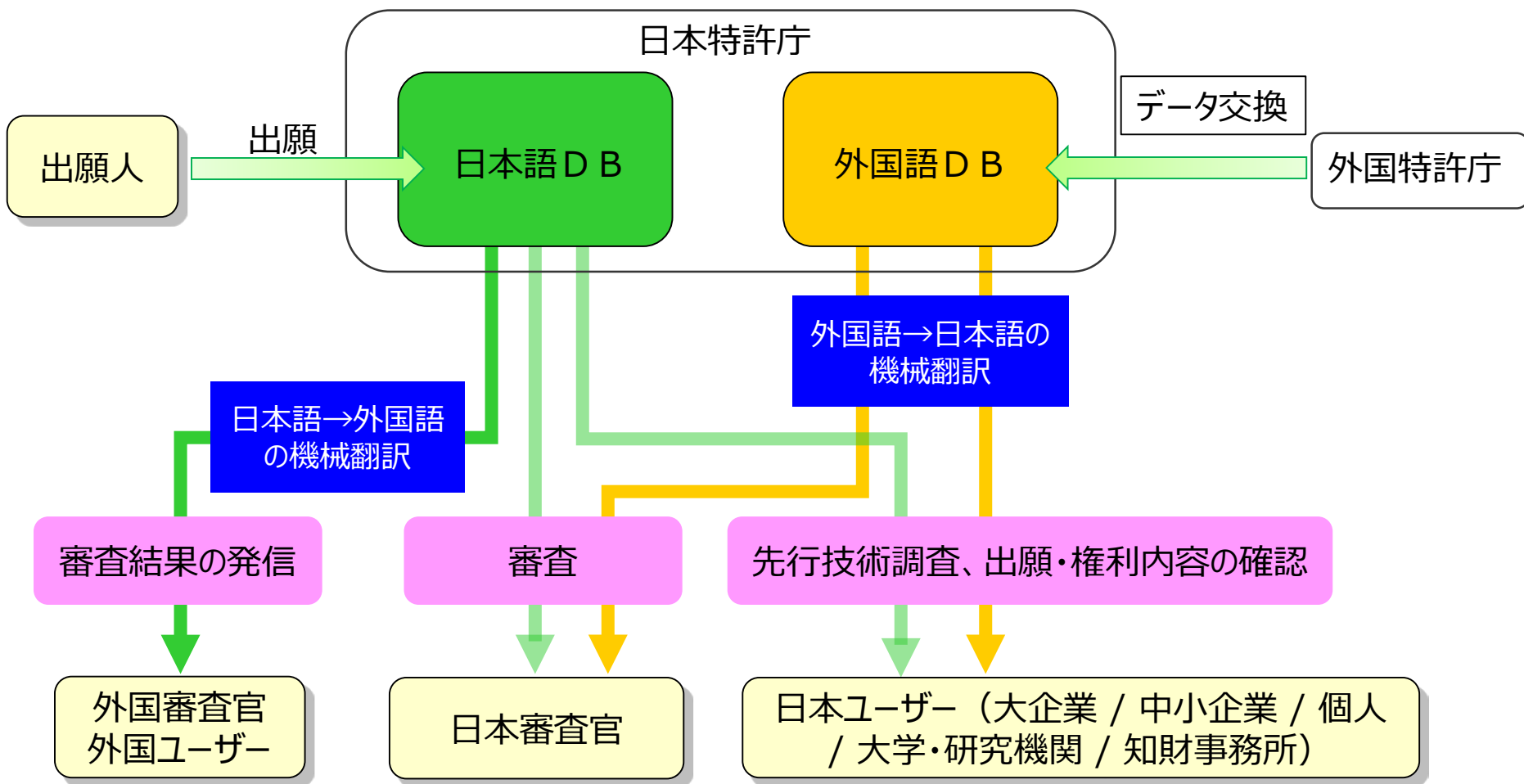
言語バリアフリー関係府省連絡会議
平成30年4月11日

特許庁総務部総務課
情報技術統括室

特許庁では、・・・

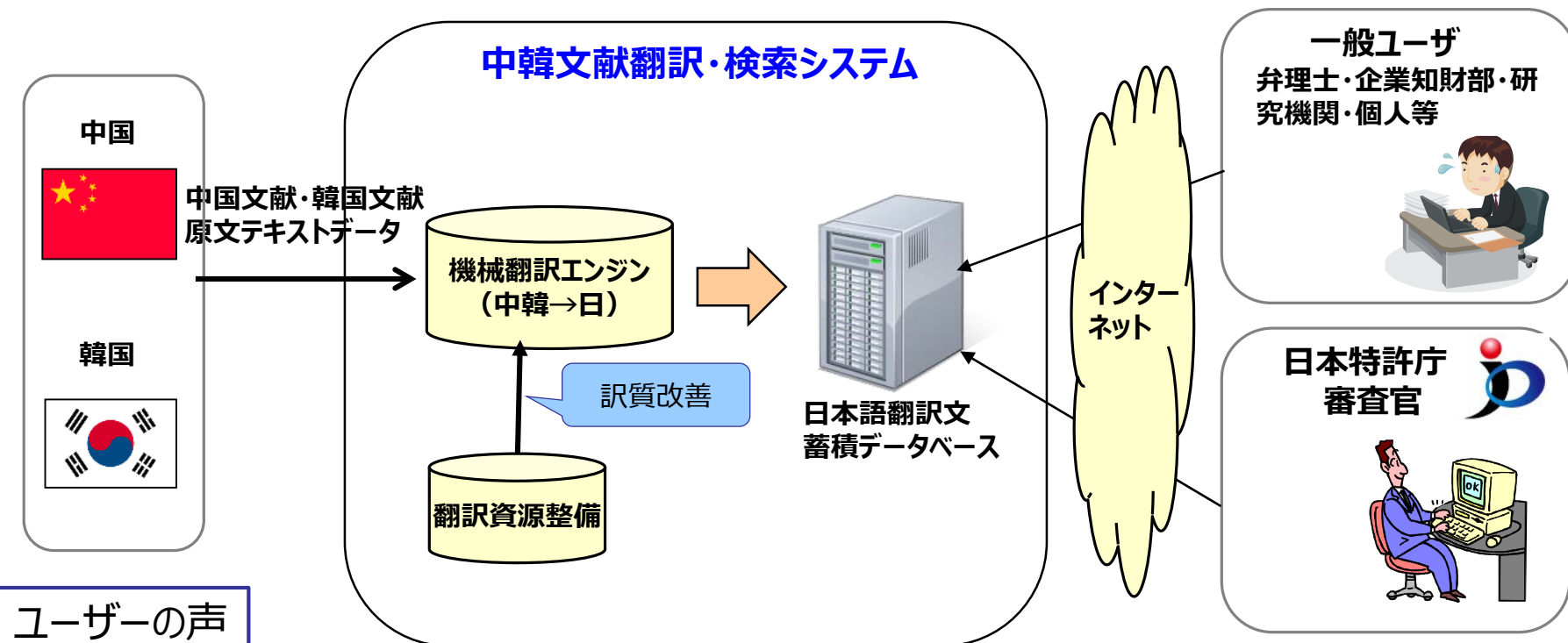
- ✓ 特許審査において、国内・国外における過去の技術文献の調査を行っています。
- ✓ 日本での審査結果は、外国庁へも発信され外国審査官に活用されています。
- ✓ 外部ユーザに対して、国内・国外における過去の技術文献を調査できる環境を提供しています。

特許庁における機械翻訳の活用シーン



1. 国内外における先行技術文献の調査
ex. 中韓文献翻訳・検索システム
2. 日本の審査結果の海外発信強化・審査結果の活用促進
ex. ワン・ポータル・ドシエサービス (OPD)
3. プロトタイプシステムの内製
ex. 高度検索システム検証プロトタイプの作成

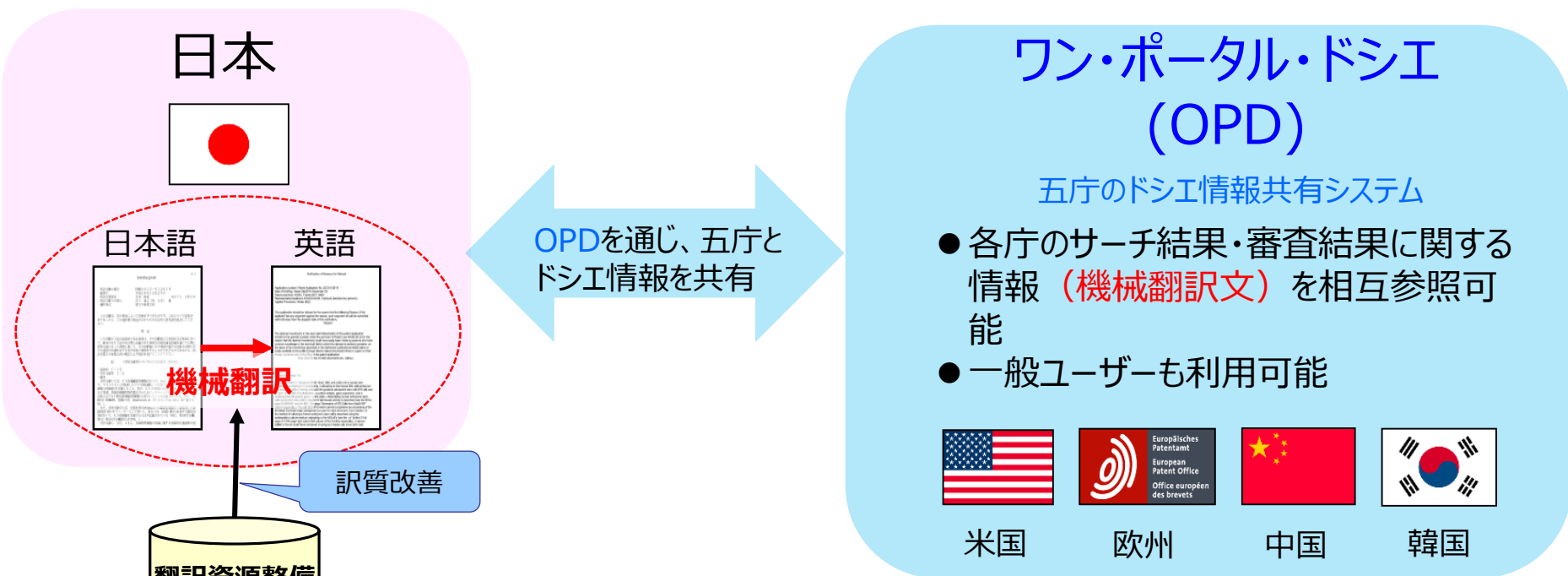
- 急増する中国・韓国語特許文献の検索の利便性を向上させるために、中国・韓国語特許文献の全文を日本語に機械翻訳し、日本語でテキスト検索及び照会できるシステムを提供。



ユーザーの声

- ✓ 中国での係争が増えていることから、中韓文献翻訳・検索システムを利用することがある。（国内ユーザ）
- ✓ 中国は生薬関連の特許が多いため、生薬関連の先行技術を調査するのに、中韓文献翻訳・検索システムを利用している（国内ユーザ）

- 海外の審査官、一般ユーザーに向けて、我が国の「世界最速・最高品質の特許審査」によるドシエ情報（特許出願の手續や審査に関連する情報）を日英機械翻訳文で提供。



ユーザーの声

- ✓ 機械翻訳文の翻訳精度は標準的であり、書類情報の内容を理解するのに十分なものである。（外国特許庁審査官）

- ・ 辞書データ・対訳コーパスの作成
- ・ 誤訳の分析
- ・ 未知語の辞書登録
- ・ 翻訳メモリの構築

ご清聴ありがとうございました。